



第48回

定時株主総会 招集ご通知

日時

2021年6月28日（月曜日）午前10時
（受付開始 9時45分）

場所

千葉県千葉市中央区東千葉2丁目8番15号
株式会社ファミリー本社（3階）会議室

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役5名選任の件
- 第3号議案 監査役2名選任の件

新型コロナウイルスに関するお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、株主総会の運営については感染防止に努めつつ、安全な運営に徹し開催することといたします。

株主総会へのご出席を検討されている株主様におかれましては、当日までの健康状態にご留意いただき、体調の優れない方、ご不安のある方の会場への来場はお控えいただきますようお願い申し上げます。株主総会にご出席の皆様には、マスクの着用とアルコール消毒液の利用をお願いいたしますのでご協力お願い申し上げます。

なお、議決権行使につきましては、**可能な限り書面での事前の議決権行使にご協力をお願い申し上げます。**

株主総会にご出席される株主様とそうでない株主様との公平性を勘案し、ご出席株主様へのお土産の配布はとりやめさせていただいております。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

株式会社 **ファミリー**

証券コード 8298

目次

(ページ)

第48回定時株主総会招集ご通知	1
提供書面	
事業報告	3
1. 会社の現況に関する事項	3
2. 会社の株式に関する事項	10
3. 新株予約権等の状況	10
4. 会社役員の状況	11
5. 会計監査人の状況	13
計算書類	14
貸借対照表	14
損益計算書	15
株主資本等変動計算書	16
計算書類に係る会計監査報告	17
監査役会の監査報告	19
株主総会参考書類	
第1号議案 剰余金の処分の件	21
第2号議案 取締役5名選任の件	22
第3号議案 監査役2名選任の件	23

証券コード 8298
2021年6月11日

株 主 各 位

千葉県千葉市中央区東千葉2丁目8番15号

株式会社ファミリー

代表取締役社長 湯 浅 茂 弘

第48回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、当社第48回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日のご出席に代えて書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2021年6月25日（金曜日）午後6時30分までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2021年6月28日（月曜日）午前10時
2. 場 所 千葉県千葉市中央区東千葉2丁目8番15号
株式会社ファミリー本社（3階）会議室
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）
3. 目的事項
報告事項 第48期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）
事業報告、計算書類の内容報告の件
決議事項
第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役5名選任の件
第3号議案 監査役2名選任の件

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

なお、株主総会参考書類ならびに事業報告、計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <https://www.cardealerfamily.co.jp/>）に掲載させていただきます。

本株主総会招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、次の事項につきましては、法令および定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、本招集ご通知の添付書類には記載しておりません。したがって、本招集ご通知の添付書類は、監査報告を作成するに際し、監査役および会計監査人が監査をした対象の一部であります。

- ・ 事業報告の「業務の適正を確保するための体制」「業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要」
- ・ 計算書類の「個別注記表」

当社ウェブサイト（アドレス <https://www.cardealerfamily.co.jp/>）

(提供書面)

## 事業報告

(2020年4月1日から  
2021年3月31日まで)

### 1. 会社の現況に関する事項

#### (1) 当事業年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及び成果

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が停滞し、景気は大幅に後退しました。また、この間、不要不急の外出自粛や店舗の営業時間短縮が要請されるなど、消費者の購買行動や勤務形態等の変化により、暮らし方や働き方にも大きな変化が生じました。

2020年度の登録車と軽自動車を合わせた国内新車販売台数は、前期比7.6%減の465万6,537台と5年ぶりに500万台を下回りました。年度上期の新車販売台数が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け約20%減少したことが影響しました。

外国メーカー車の新車販売台数は、前期比12.5%減の25万5,518台と前年を大きく下回り、リーマンショック以来12年ぶりの2桁の減少となりました。新型コロナウイルス感染症拡大により、上期の来店客減少による売り上げの減少と車両の供給に支障が出たことが大きな要因です。

このような状況下、当社は、新型コロナウイルス感染症のリスク対応を図るとともに、欧米8ブランドを取り扱うことができるメリットを最大限発揮し、お客様に最適なお車を提供できるように努めるとともに、不動産事業、発電事業による多角化経営により安定的な収益確保に取り組んでまいりました。

その結果、当事業年度の業績は、売上高128億51百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益7億69百万円（前年同期比34.2%増）、経常利益7億92百万円（前年同期比38.6%増）、当期純利益は5億48百万円（前年同期比44.7%増）となりました。

事業のセグメント別の状況は下記のとおりです。

##### (車両販売関連事業)

車両販売関連事業におきましては、4、5月に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外出自粛が要請され、営業時間を短縮するなど感染防止に努めた結果、来店客数が減少しましたが、5月下旬の緊急事態宣言解除後は、売上が急速に回復し、以降は順調に推移しました。フォルクスワーゲン車は車両の供給不足により苦戦しましたが、プジョー、ジープが好調に推移し、大きく売上に貢献しました。一方で費用面においては、広告宣伝等の活動の抑制や費用の効率化により販売費及び一般管理費が減少しました。

この結果、売上高は、125億6百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は5億97百万円（前年同期比70.5%増）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、本社、西船橋、市川、成田各店の階上賃貸マンション、京成成田駅前のビジネスホテルにおいて、安定的な賃貸収入が計上できました。さらに、旧野田店跡地のスーパーマーケット運営会社からの地代収入も計上できましたが、西船橋賃貸マンションの修繕費用28百万円等の費用が発生した結果、売上高は2億63百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は1億37百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

#### (発電事業)

発電事業におきましては、天候不順により成田太陽光発電所の発電量は多少減少しました。また、設備の修繕費用19百万円等の費用が発生した結果、売上高は81百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は33百万円（前年同期比32.1%減）となりました。

なお、品目別の販売実績は以下のとおりであります。

| 事業部門の名称  |       | 台数(台) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
|----------|-------|-------|---------|--------|
| 車両販売関連事業 | 新車    | 1,616 | 7,525   | 58.6   |
|          | 中古車   | 1,068 | 2,352   | 18.3   |
|          | 車両その他 | —     | 146     | 1.1    |
|          | 車両整備  | —     | 1,878   | 14.6   |
|          | 受取手数料 | —     | 603     | 4.7    |
|          | 小計    | 2,684 | 12,506  | 97.3   |
| 不動産事業    |       | —     | 263     | 2.1    |
| 発電事業     |       | —     | 81      | 0.6    |
| 合計       |       | 2,684 | 12,851  | 100.0  |

#### ② 設備投資の状況

当事業年度の設備投資総額は2億26百万円であります。その主なものは、車両販売関連事業のレンタカー取得費用63百万円、フィアット・アバルト/アルファロメオ千葉、フォルクスワーゲン柏、白井工場各店の改装設備費用88百万円であります。

#### ③ 資金調達の状況

当事業年度中に、設備投資その他の所要資金として、金融機関より長期借入金2億円の調達を実施しました。

その他の増資、社債発行等による資金調達は行っておりません。

## (2) 財産及び損益の状況

| 区 分            | 第45期<br>(2018年3月期) | 第46期<br>(2019年3月期) | 第47期<br>(2020年3月期) | 第48期<br>(当事業年度)<br>(2021年3月期) |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 売上高 (百万円)      | 13,862             | 14,375             | 13,361             | 12,851                        |
| 経常利益 (百万円)     | 754                | 796                | 571                | 792                           |
| 当期純利益 (百万円)    | 518                | 523                | 378                | 548                           |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 92.60              | 93.42              | 67.58              | 97.80                         |
| 純資産 (百万円)      | 6,118              | 6,573              | 6,890              | 7,393                         |
| 総資産 (百万円)      | 12,440             | 12,484             | 12,131             | 12,638                        |
| 1株当たり純資産額 (円)  | 1,091.79           | 1,172.98           | 1,229.56           | 1,319.27                      |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2. 第48期（当事業年度）については、前項①「事業の経過及び成果」に記載のとおりであります。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

- ① 親会社の状況  
該当事項はありません。
- ② 重要な子会社の状況  
該当事項はありません。

#### (4) 対処すべき課題

つながる車、自動運転、カーシェア、電動化などによって、自動車業界に訪れている「100年に1度の変革期」が、輸入車ディーラー経営に大きな影響を与えています。また、少子高齢化、人口減少、自動車に対する嗜好の変化から若年層の自動車離れという構造的な問題によりマーケットの縮小は避けられないと考えられます。

このような状況下、時代の変化に対応し、持続的に成長していけるように以下の項目に積極的に取り組んでまいります。

##### ① 車両販売関連事業

〔収益力の維持・向上〕

自動車市場の縮小、国産車を含めた同業他社との競争激化に対応していくためには、既納お客様の囲い込みだけでは十分でなく、他ブランドからの乗り換え、新規のお客様を獲得していかねばなりません。当社では、8ブランドの車種を取り扱っているメリットを最大限に発揮し、お客様のニーズとライフサイクルに応じた提案活動によりお客様に最適なお車を提供できるように努めてまいります。

また、アフターサービスによる収益確保に加え、保険・ローン・コーティング等の周辺事業にも積極的に取り組み、収益拡大に努めてまいります。

〔店舗設備等への適切な投資〕

つながる車、自動運転、カーシェア、電気自動車等の技術革新により、多種多彩な車が発売されるのに伴い、店舗改装等に多額の投資が必要となっておりますが、当社としては、費用対効果を十分に見極め、適切な投資を行ってまいります。

##### ② 多角化経営

当社では、車両販売関連事業に加え、不動産事業、発電事業の展開により安定的な収益を確保しております。

不動産事業におきましては、本社・西船橋・市川・成田各店階上の賃貸マンション、京成成田駅前のビジネスホテル、白井工場内賃貸事務所及び駐車場からの賃貸収入、旧野田店跡地をスーパーマーケット運営会社に賃貸している地代が安定的に確保されています。引き続き、多角化経営による収益確保に努めてまいります。

##### ③ 強固な財務体質

当社の純資産・自己資本比率は毎年向上、また有利子負債も着実に減少し、万全な財務体質を構築できています。将来的な投資については、営業活動によるキャッシュ・フローの範囲内に収めるなど引き続き強固な財務体質を維持してまいります。



④ 人材育成と働きやすい環境づくり

自動車市場の縮小、インターネットをはじめとした情報入手の手段の多様化など変革期にある自動車業界を生き抜いていくためには、新しい視点を持った優秀な人材の確保が必要と考えています。新卒採用活動には、今まで以上に力を注ぎ、毎年10名程度の新卒社員の採用を継続していくとともに社員個々の能力、専門性向上のための社員教育にもさらに力を入れ、業績向上に努めてまいります。

また、社員個々の能力を最大限発揮できる環境整備と仕組みづくりにも力をいれ、社員満足度も高めてまいります。

**(5) 主要な事業内容** (2021年3月31日現在)

当社は、千葉県を主な販売区域とし、欧米8ブランドの正規ディーラーとして新車、中古車、部品・用品の仕入・販売、及び、自動車の修理を行っております。また、自動車のレンタル業、損害保険等の保険代理業務を行っているほか、不動産事業としてマンション、ビジネスホテル等の賃貸を行っております。さらに発電事業として太陽光発電所を所有し売電を行っております。

**(6) 主要な事業所等** (2021年3月31日現在)

| 事業所                       | 所在地     | 事業所             | 所在地     |
|---------------------------|---------|-----------------|---------|
| (車両販売関連事業)<br>本 社         | 千葉県千葉市  | プジョー千葉          | 千葉県柏市   |
|                           |         | プジョー市川          | 千葉県市川市  |
| 白井 板金・塗装工場                | 千葉県白井市  | プジョー柏           | 千葉県柏市   |
| ポルシェセンター柏<br>及び認定中古車ギャラリー | 千葉県柏市   | プジョー成田サービスポイント  | 千葉県成田市  |
| アウディ柏                     | 千葉県流山市  | 船橋中古車センター       | 千葉県船橋市  |
| フォルクスワーゲン柏                | 千葉県柏市   | 千葉北中古車センター      | 千葉県千葉市  |
| フォルクスワーゲン木更津              | 千葉県木更津市 | オリックスレンタカー東千葉   | 千葉県千葉市  |
| フォルクスワーゲン習志野<br>サテライトサービス | 千葉県船橋市  | オリックスレンタカー津田沼   | 千葉県習志野市 |
| フィアット/アバルト千葉              | 千葉県千葉市  | オリックスレンタカー木更津   | 千葉県木更津市 |
| フィアット/アバルト習志野             | 千葉県船橋市  | (発 電 事 業)       |         |
| フィアット/アバルト成田              | 千葉県成田市  | 成田太陽光発電所        | 千葉県成田市  |
| フィアット指定サービス工場 船橋東         | 千葉県船橋市  | (不 動 産 事 業)     |         |
| アルファ ロメオ千葉                | 千葉県千葉市  | 白井工場内賃貸事務所及び駐車場 | 千葉県白井市  |
| アルファ ロメオ成田                | 千葉県成田市  | センターホテル成田2・R51  | 千葉県成田市  |
| ジープ柏                      | 千葉県流山市  | スーパーマーケット賃貸用地   | 千葉県野田市  |
| ジープ千葉                     | 千葉県千葉市  | グランヴィラファミリエ     | 千葉県千葉市  |
| ジープ成田                     | 千葉県成田市  | グランヴィラ西船橋       | 千葉県船橋市  |
| ジープ船橋                     | 千葉県船橋市  | グランヴィラ市川        | 千葉県市川市  |
| ジープ指定サービス工場 習志野           | 千葉県船橋市  | グランヴィラ成田赤坂      | 千葉県成田市  |

**(7) 従業員の状況 (2021年3月31日現在)**

| 従業員数       | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------------|-----------|-------|--------|
| 146 (30) 名 | 10名増 (―)  | 40.3歳 | 11.9年  |

| セグメントの名称 | 従業員数       | 前事業年度末比増減 |
|----------|------------|-----------|
| 車両販売関連事業 | 130 (29) 名 | 8名増 (1名増) |
| 不動産事業    | ― (―) 名    | ― (―)     |
| 発電事業     | ― (1) 名    | ― (―)     |
| 報告セグメント計 | 130 (30) 名 | 8名増 (1名増) |
| 全社 (共通)  | 16 (―) 名   | 2名増 (1名減) |
| 合計       | 146 (30) 名 | 10名増 (―)  |

(注) 1. 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数 (パートタイマー、アルバイト、嘱託社員) は年間平均人員を ( ) 外数で記載しております。

2. 全社 (共通) として記載されている従業員数は、管理部門に所属しているものであります。

**(8) 主要な借入先の状況 (2021年3月31日現在)**

| 借入先         | 借入額      |
|-------------|----------|
| 株式会社千葉銀行    | 1,272百万円 |
| 株式会社千葉興業銀行  | 777      |
| 株式会社みずほ銀行   | 563      |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 519      |
| 株式会社京葉銀行    | 490      |

**(9) その他会社の現況に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 2. 会社の株式に関する事項 (2021年3月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 26,000,000株
- ② 発行済株式の総数 6,529,114株
- ③ 株主数 824名
- ④ 大株主 (上位10名)

| 株主名                | 持株数     | 持株比率  |
|--------------------|---------|-------|
| 株式会社ファミリー商事        | 1,551千株 | 27.7% |
| ファミリー従業員持株会        | 467千株   | 8.3%  |
| 損害保険ジャパン株式会社       | 386千株   | 6.9%  |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 311千株   | 5.6%  |
| 株式会社千葉銀行           | 234千株   | 4.2%  |
| 西條善内               | 200千株   | 3.6%  |
| 内藤征吾               | 191千株   | 3.4%  |
| 西條清子               | 188千株   | 3.4%  |
| 株式会社ジャックス          | 181千株   | 3.2%  |
| SMB C日興証券株式会社      | 173千株   | 3.1%  |

- (注) 1. 当社は、自己株式を924,938株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 3. 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

#### 4. 会社役員の状態

##### (1) 取締役及び監査役の状態 (2021年3月31日現在)

| 会社における地位 | 氏名      | 担当及び重要な兼職の状況         |
|----------|---------|----------------------|
| 代表取締役会長  | 西 條 徳 三 |                      |
| 代表取締役社長  | 湯 浅 茂 弘 |                      |
| 専務取締役    | 清 水 貴 志 | 管理本部長                |
| 専務取締役    | 富 田 啓 充 | 営業本部長                |
| 取締役      | 篠 原 勝 章 | 損害保険ジャパン(株)千葉自動車営業部長 |
| 常勤監査役    | 江 南 悌 信 |                      |
| 監査役      | 秦 康 夫   | (株)ハイパーワークス代表取締役社長   |
| 監査役      | 鈴 木 昌 広 | ちばぎん保証(株)相談役         |

- (注) 1. 取締役 篠原勝章氏は社外取締役であります。  
2. 監査役 秦康夫氏及び監査役 鈴木昌広氏は社外監査役であります。  
3. 当社は、東京証券取引所に対して、監査役 鈴木昌広氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

##### (2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、社外取締役及び各社外監査役との間で、定款に会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項に定める損害賠償責任を法令が定める額に限定する契約を締結しております。

### (3) 取締役及び監査役の報酬等の総額

#### 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区分               | 支給人員     | 支給額              |
|------------------|----------|------------------|
| 取締役              | 4名       | 50,694千円         |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 2<br>(1) | 7,058<br>(1,800) |
| 合計               | 6        | 57,752           |

- (注) 1. 取締役の報酬限度額は、2013年6月21日開催の第40回定時株主総会において年額70,000千円以内（ただし、使用人分給とは含まない。）と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は、4名です。
2. 監査役の報酬限度額は、2013年6月21日開催の第40回定時株主総会において年額20,000千円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は3名です。
3. 取締役の報酬は、取締役会より一任された代表取締役会長 西條徳三が役位、常勤、非常勤、職務の内容及び実績、従業員給与との均衡及び会社の業績等を総合的に勘案して素案を策定し、取締役会にて協議したうえで決定しております。監査役の報酬等は、株主総会で決議された報酬総額の範囲内において、常勤、非常勤、業務分担の状況を考慮して監査役の協議により決定しております。委任した理由は、当社の経営状況等を最も熟知し、各取締役の評価を行うには代表取締役会長が適していると判断したためであります。
4. 上記の支給額には、以下のものが含まれております。  
・当事業年度における役員退職慰労引当金の繰入額2,552千円（取締役3名に対し2,394千円、監査役1名に対し158千円）
5. 支給人員は、無報酬の社外取締役1名、社外監査役1名を除いております。

### (4) 社外役員に関する事項

#### ①他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該法人等との関係

- ・社外取締役篠原勝章氏は、損害保険ジャパン株式会社の千葉自動車営業部長であります。同社は当社と損害保険代理店委託契約及び損害保険契約を締結しております。
- ・社外監査役秦康夫氏は、株式会社ハイパーワークスの代表取締役社長であります。当社は同社と取引関係がありますが主要な取引先ではありません。
- ・社外監査役鈴木昌広氏は当社との間に特別な利害関係はありません。

## ②当事業年度における主な活動状況

|          | 出席状況及び発言状況                                                                                                                                                                             |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 篠原勝章 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に出席いたしました。主に保険業界における豊富な経験と実績を活かし経営から独立した客観的・中立的な立場から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。                                                                   |
| 監査役 秦 康夫 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回、監査役会13回のうち13回に出席いたしました。自動車業界に精通していることに加え、経営者としての豊富な経験及び幅広い見識から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社の経理システム並びに内部監査について適宜、必要な発言を行っております。 |
| 監査役 鈴木昌広 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回、監査役会13回のうち13回に出席いたしました。主に金融機関及びその関連会社での経営者の経験及び幅広い見識から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社の経理システム並びに内部統制について適宜、必要な発言を行っております。         |

## 5. 会計監査人の状況

(1) 名称 千葉第一監査法人

(2) 報酬等の額

|                                | 報酬等の額    |
|--------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額            | 12,000千円 |
| 当社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 12,000千円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 当社監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠などを確認し検証を行った上で、会計監査人の報酬等の額についての同意の判断をいたしました。

(3) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨及びその理由を報告いたします。

## 6. 株式会社の支配に関する基本方針

該当事項はありません。

# 貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目                 | 金 額               |
|-----------------|-------------------|---------------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>       |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>4,548,659</b>  | <b>流動負債</b>         | <b>3,496,038</b>  |
| 現金及び預金          | 1,856,495         | 買掛金                 | 417,539           |
| 売掛金             | 387,306           | 短期借入金               | 1,700,000         |
| 商品              | 1,905,015         | 1年内返済予定長期借入金        | 392,830           |
| 部品及び用品          | 133,318           | リース債務               | 63,222            |
| 貯蔵品             | 7,534             | 未払金                 | 184,861           |
| 販売用不動産          | 12,928            | 未払費用                | 91,808            |
| 前渡金             | 18,021            | 未払法人税等              | 170,095           |
| 前払費用            | 30,138            | 未払消費税等              | 29,921            |
| 未収入金            | 184,472           | 前受金                 | 400,802           |
| その他             | 13,429            | 賞与引当金               | 15,898            |
|                 |                   | その他                 | 29,059            |
| <b>固定資産</b>     | <b>8,090,100</b>  | <b>固定負債</b>         | <b>1,749,309</b>  |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>7,843,458</b>  | 長期借入金               | 1,529,630         |
| 建物              | 2,002,175         | リース債務               | 58,668            |
| 構築物             | 54,116            | 役員退職慰労引当金           | 19,931            |
| 機械及び装置          | 203,184           | 資産除去債務              | 4,213             |
| 車両運搬具           | 6,287             | その他                 | 136,866           |
| 工具、器具及び備品       | 24,070            |                     |                   |
| 賃貸不動産           | 2,270,038         | <b>負債合計</b>         | <b>5,245,348</b>  |
| 貸与資産            | 60,800            | <b>(純資産の部)</b>      |                   |
| 土地              | 3,207,785         | <b>株主資本</b>         | <b>7,386,102</b>  |
| 建設仮勘定           | 15,000            | <b>資本金</b>          | <b>1,387,297</b>  |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>19,428</b>     | <b>資本剰余金</b>        | <b>815,014</b>    |
| ソフトウェア          | 11,124            | 資本準備金               | 348,297           |
| 電話加入権           | 4,967             | その他資本剰余金            | 466,717           |
| 施設利用権           | 3,336             | <b>利益剰余金</b>        | <b>5,384,669</b>  |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>227,214</b>    | その他利益剰余金            | 5,384,669         |
| 投資有価証券          | 64,319            | 繰越利益剰余金             | 5,384,669         |
| 差入保証金           | 52,465            | <b>自己株式</b>         | <b>△200,878</b>   |
| 繰延税金資産          | 19,424            | <b>評価・換算差額等</b>     | <b>7,309</b>      |
| その他             | 91,005            | <b>その他有価証券評価差額金</b> | <b>7,309</b>      |
| <b>資産合計</b>     | <b>12,638,760</b> | <b>純資産合計</b>        | <b>7,393,412</b>  |
|                 |                   | <b>負債・純資産合計</b>     | <b>12,638,760</b> |



## 損 益 計 算 書

(2020年4月1日から  
2021年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目          | 金       | 額          |
|--------------|---------|------------|
| 売上高          |         | 12,851,935 |
| 売上原価         |         | 10,653,950 |
| 売上総利益        |         | 2,197,985  |
| 販売費及び一般管理費   |         | 1,428,595  |
| 営業利益         |         | 769,389    |
| 営業外収益        |         |            |
| 受取利息及び配当金    | 4,347   |            |
| その他          | 30,179  | 34,527     |
| 営業外費用        |         |            |
| 支払利息         | 11,083  |            |
| その他          | 100     | 11,183     |
| 経常利益         |         | 792,733    |
| 特別利益         |         |            |
| 固定資産売却益      | 448     | 448        |
| 特別損失         |         |            |
| 固定資産除却損      | 3,842   |            |
| 固定資産売却損      | 1,027   | 4,869      |
| 税引前当期純利益     |         | 788,312    |
| 法人税、住民税及び事業税 | 244,668 |            |
| 法人税等調整額      | △4,419  | 240,249    |
| 当期純利益        |         | 548,063    |

## 株主資本等変動計算書

(2020年4月1日から  
2021年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本   |           |                                      |         |                     |           |
|-------------------------|-----------|-----------|--------------------------------------|---------|---------------------|-----------|
|                         | 資本金       | 資 本 剰 余 金 |                                      |         | 利 益 剰 余 金           |           |
|                         |           | 資本準備金     | そ<br>の<br>他<br>資<br>本<br>剰<br>余<br>金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計   |
| 当期首残高                   | 1,387,297 | 348,297   | 466,717                              | 815,014 | 4,892,648           | 4,892,648 |
| 当期変動額                   |           |           |                                      |         |                     |           |
| 剰余金の配当                  |           |           |                                      |         | △56,041             | △56,041   |
| 当期純利益                   |           |           |                                      |         | 548,063             | 548,063   |
| 株主資本以外の<br>項目の当期変動額(純額) |           |           |                                      |         |                     |           |
| 当期変動額合計                 | —         | —         | —                                    | —       | 492,021             | 492,021   |
| 当期末残高                   | 1,387,297 | 348,297   | 466,717                              | 815,014 | 5,384,669           | 5,384,669 |

|                         | 株主資本     |           | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計     |
|-------------------------|----------|-----------|------------------|----------------|-----------|
|                         | 自己株式     | 株主資本合計    | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |           |
| 当期首残高                   | △200,878 | 6,894,080 | △3,399           | △3,399         | 6,890,681 |
| 当期変動額                   |          |           |                  |                |           |
| 剰余金の配当                  |          | △56,041   |                  |                | △56,041   |
| 当期純利益                   |          | 548,063   |                  |                | 548,063   |
| 株主資本以外の<br>項目の当期変動額(純額) |          |           | 10,708           | 10,708         | 10,708    |
| 当期変動額合計                 | —        | 492,021   | 10,708           | 10,708         | 502,730   |
| 当期末残高                   | △200,878 | 7,386,102 | 7,309            | 7,309          | 7,393,412 |

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2021年5月25日

株式会社ファミリー  
取締役会 御中

千葉第一監査法人  
千葉県千葉市

代表社員 公認会計士 本橋 雄一 ㊞  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 林 広隆 ㊞  
業務執行社員

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ファミリーの2020年4月1日から2021年3月31日までの第48期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、2021年5月11日開催の取締役会において、株式会社TSホールディングスによる会社の発行済普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」）に賛同する旨の意見を表明するとともに、会社の株主に対して、本公開買付けへの応募を推奨する旨の決議を行った。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2020年4月1日から2021年3月31日までの第48期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 千葉第一監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2021年5月28日

株式会社ファミリー 監査役会  
常勤監査役 江南 悌信 ㊟  
社外監査役 秦 康夫 ㊟  
社外監査役 鈴木 昌広 ㊟

以上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

剰余金処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

第48期の期末配当につきましては、当事業年度の業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしまして以下のとおりといたしたいと存じます。

- ① 配当財産の種類  
金銭といたします。
- ② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金10円といたしたいと存じます。  
なお、この場合の配当総額は56,041,760円となります。
- ③ 剰余金の配当が効力を生じる日  
2021年6月29日といたしたいと存じます。

## 第2号議案 取締役5名選任の件

取締役全員（5名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役5名の選任をお願いするものであります。取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                         | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                   | 所有する当社の株式数 |
|-------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | さいじょうとくぞう<br>西 條 徳 三<br>(1935年3月5日生) | 1973年7月 当社を設立、代表取締役社長<br>1986年7月 当社営業本部長<br>2018年6月 当社代表取締役会長（現任）                                                                                               | 98,500株    |
| 2     | ゆあさしげひろ<br>湯 浅 茂 弘<br>(1968年9月7日生)   | 1991年4月 当社入社<br>2001年6月 当社取締役総務部長<br>2006年6月 当社常務取締役<br>2015年4月 当社専務取締役<br>2018年6月 当社代表取締役社長（現任）                                                                | 28,000株    |
| 3     | しみずたかし<br>清 水 貴 志<br>(1960年6月10日生)   | 1983年4月 共栄火災海上保険相互会社（現共栄火災海上保険株式会社）入社<br>1994年6月 当社監査役<br>2012年4月 共栄火災海上保険株式会社本店営業部副部長<br>2013年6月 当社常務取締役経理部長<br>2018年6月 当社専務取締役管理本部長（現任）                       | 9,000株     |
| 4     | とみたひろみち<br>富 田 啓 充<br>(1961年9月24日生)  | 1989年6月 日商岩井自動車販売株式会社（現グループPSAジャパン販売株式会社）入社<br>2004年7月 同社営業本部統括部長<br>2008年1月 当社入社、営業部長<br>2009年6月 当社取締役<br>2015年4月 当社常務取締役営業副本部長<br>2018年6月 当社専務取締役営業本部長（現任）    | 9,000株     |
| 5     | しのはらかつあき<br>篠 原 勝 章<br>(1968年6月14日生) | 1991年4月 安田火災海上保険株式会社（現損害保険ジャパン株式会社）入社<br>2007年7月 同社名古屋支店名古屋東支社長<br>2012年4月 同社営業企画部企画グループリーダー<br>2016年4月 同社愛媛支店長<br>2019年4月 同社千葉自動車営業部長（現任）<br>2019年6月 当社取締役（現任） | 一株         |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 篠原勝章氏は、社外取締役候補者であります。
3. 篠原勝章氏を社外取締役候補者とした理由は保険業界における豊富な経験及び知見を有しており、独立した立場から取締役等の職務執行を監督していただくことにより、当社取締役会の機能強化が期待されるためであります。なお、同氏は、過去に会社の経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外取締役として、その職務を適切に遂行できるものと判断しております。
4. 篠原勝章氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって2年となります。



### 第3号議案 監査役2名選任の件

監査役江南悌信氏及び秦康夫氏は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、監査役2名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)          | 略歴、当社における地位<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                        | 所有する当社の株式数 |
|-------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | 江南悌信<br>(1947年8月22日生) | 1971年4月 日産自動車株式会社入社<br>1995年1月 日産チェリー千葉販売株式会社(現日産プリンス千葉販売株式会社) 常務取締役<br>1999年6月 当社入社<br>1999年6月 当社営業部長<br>2009年6月 当社監査役(現任)                                                                                      | 12,000株    |
| 2     | 秦康夫<br>(1937年11月23日生) | 1962年4月 東洋工業株式会社(現マツダ株式会社)入社<br>1981年5月 同社営業本部第一販売部東京地区ブロック長<br>1988年5月 同社営業本部第一事業本部長<br>1989年4月 株式会社ユノース代表取締役専務<br>1992年7月 株式会社ハイパーワークス設立代表取締役社長(現任)<br>2013年6月 当社監査役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社ハイパーワークス 代表取締役社長 | 20,000株    |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 秦康夫氏は、社外監査役候補者であります。
3. 秦康夫氏を社外監査役候補者とした理由は以下のとおりであります。  
自動車メーカー等での経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しており、それらを当社の社外監査役として当社の監査に活かしていただきたいためであります。
4. 秦康夫氏は、現在、当社の社外監査役であります。監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって8年となります。

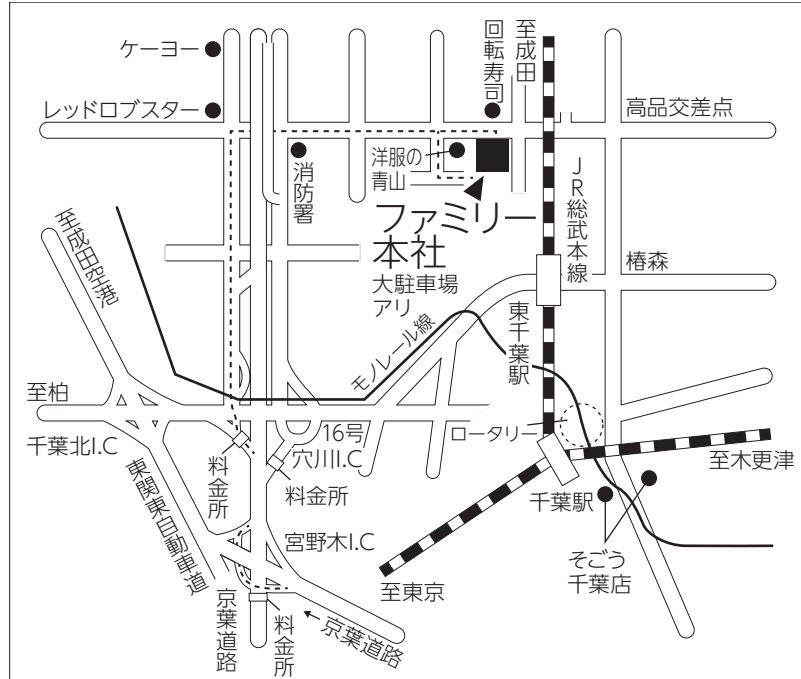
以上





## 株主総会会場ご案内図

会場 千葉県千葉市中央区東千葉2丁目8番15号  
株式会社ファミリー本社（3階）会議室  
TEL 043 (284) 1111 (代)



### [交通のご案内]

#### ■電車ご利用の場合

- JR総武線（東京駅より快速45分）千葉駅下車
  - ・タクシー5分
  - ・バス10分（みつわ台車庫行…高品第2公園下車、進行方向へ約50m）
- JR総武本線東千葉駅下車
  - ・徒歩15分

#### ■お車ご利用の場合

- 東関東自動車道・京葉道路利用
  - ・穴川I.Cから約1km（約5分）
- 当社駐車場をご利用ください。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。